

## 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(176) 議事録

日 時	令和元年 10 月 15 日 (火) 18:30~20:30
場 所	閑上公民館 (2 階会議室)
出席者	■針生勉 ■今野義正 ■阿部ひで ■今野慎介 □南部比呂志 ■宇佐美久夫 ■千葉洋子 □出雲隆 (事務局)コンサルタント4名
オブザーバー	市職員 震災復興部2名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. ふるさと名取秋まつり出展 3. 復興達成後の閑上地区まちづくり 4. その他
資 料	資料-0 次第、第 175 回世話役会議事録案 資料-1 2019 ふるさと名取秋まつり 資料-2 宮城県震災復興事業助成金申請書案 資料-3 閑上イベントカレンダー

### ○ 協議要旨

#### 0. 事前確認について

##### <議事録確認>

- ・第 175 回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

#### 1. 情報共有

##### <名取市からの情報提供>

- ・台風 19 号の被害・避難状況や市有地の販売状況などの報告があった。

##### <前回からの動き>

- ・総合計画の懇談会への参加が報告された。

##### <今後の予定>

- ・今後のイベントや施設整備のスケジュールなど早めに情報開示してほしいと市にお願いした。

#### 2. ふるさと名取秋まつり出展

- ・イベントスケジュールの作成について、意見交換した。当日の集合時間や風船の提供などを決定した。

#### 3. 復興達成後の閑上地区まちづくり

- ・閑上に関連した団体や事業者、住民代表など様々な人で構成された将来の閑上地区を考える組織の準備を進めることが必要であるとの話になった。
- ・まち協はその橋渡しをする役目として、たたき台を作成し、人を集める方法などを今後も検討してい

くこととなった。

#### 4. その他

- ・助成金の申請書について、了解され、事務局で申請することとなった。

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は10月29日（火）とする。

次回予定:世話役会(177) / (火)18:30～ 関上公民館会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

### 0. 事前確認

#### 資料-0 第175回世話役会議事録案

#### <議事録の確認>

- ・第175回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

#### 1. 情報共有

#### <名取市からの情報提供>

⇒台風19号による被害状況は人的被害はなし、土砂崩れ、床上下浸水については確認中、避難者数は13日午前2時、273世帯688人が15か所の避難場所に避難した。午前九時には解消、2世帯5のみ残存した。(市)

- ・一番多かった避難所は？

⇒関上小中学校44世帯111人一番多い。午前1,2時ピーク、事業地内は施行中区域は浸水したが、その他の施行済み区域は浸水はなかった。調査中なので今後変動する可能性もある。(市)

- ・武道場に32人、ランチルームへの移動で100人超えた。徐々に集まってきた。避難所については、ペットずれがいるが、ゲージも持参すべきではないかと感じた。今後も踏まえ、住民への方法周知をどのようにするか検討が必要である。動物による迷惑などの運用ルールを明確にする必要があると思う。

- ・どの地区の人がどの程度かわかるか？

⇒わからない。(市)

- ・避難所の人泊っているなどの連絡があったが、町内会長への連絡の意図がわからなかった。情報共有でいいのか？

⇒それでいい。(市)

- ・中央集会所への避難があったが、開放したか？

⇒指定避難所ではないが、近くの集会所に避難したということで、食料などの備えがないので、物資供給の要請があった。(市)

- ・集合住宅の6階が避難所の指定がされている。が、避難所でない場所に避難してくるなどについて、防災訓練などの実施により、周知していくことが重要だろう。ペットの問題など全国的なこととなっ

ているので、今後、共有すべきだと思う。

⇒集会所は開放していないと思う。ペットについて宿題だと思う。(市)

⇒中央集会所も避難場所となっているとHPで掲載されていると思う。(事務局)

・地内に2か所避難所があると理解している。

⇒市有地の申し込み状況は、今週末まで募集しており、現段階で全区画で応募あり、18件応募している。最も高い倍率は5倍となっており、応募は、まだ、増えそうだ。

⇒芋煮会は、台風の影響で10月12日のは11月2日に順延している。(市)

・決定か？

⇒会場の都合で11月2日しかないので、その日となるかもしれないが、準備会が決定する。(市)

・当日の都合で最終的には決まる予定。

・11月2日に役員会を開催するので、西地区の人たちに傍聴などの段取りも知ってもらいたいと思う。

・代表世話役が仙台高専からヒヤリングを10月10日に受けた。まちびらきの状況とまち協の設立について聞かれた。推進協議会との関係や宮城県からの指導で準備委員会を立ち上げたなどの話を1時間半話した。

・総合計画の懇談会については、4名参加したが、計画への意見を聞かれた。インバウンドが閑上などに寄らないなどから留める方策を求めた。閑上にお金を落とす方策を考えてほしい。集客施設の立地もありもったいないということである。県内他地域の活動に比べ、名取市の活動が消極的なので、活性化を望んだ。宿泊施設も空港周辺にない。

⇒空港⇒閑上の船の運航により、県内他地域への接続を促進する拠点として活性化することが望まれているので、声を大きくすべきだろう。(事務局)

・震災前から話はあった。現在の舟運事業ではイメージできない。本気にならないとうまくいかないだろう。

・意見交換しただけか？

・今後の計画作成などに参考としてもらうようだが、パブリックコメントの実施についてより周知すべきだろう。住民意見の反映する機会があるのだが、その周知が足りなく、知らない人が多い。

・インバウンドの誘致については、石巻市は翻訳機を貸し出しなどもしていると聞いているので、そのようなことを取り組むべきだろう。

<今後の予定>

・サイクルスポーツセンターについて、運営主体などの公表はしないのか？

⇒全く知らない。(市)

・正確な情報を周知すべきだろう。

⇒商工観光課が窓口なので、復興部は預かりしらないことは事実だ。(市)

・市民への情報開示をなるべく早くしてほしい。

・10月16日にかわまちづくり検討会がある。次回報告する。

⇒できれば大雨時の車両通行は農道は回避すべきです。気を付けてください。(事務局)

・10月20日閑上公民館祭りが開催予定。

・湊神社で芋煮会もあるようだ。

- ・当日開催などのイベントは調整が必要だろう。
- ・調整する場がない。人を呼んでイベントするなら重複しないようにすべきだろう。

## 2. ふるさと名取秋まつり出展について

⇒サイズレイアウトの変更をした。場所も決まったので、フォトフレームの設置も含めて考えたい。

掲載予定のイベントスケジュール案を示すので、教えてほしい。(事務局)

- ・震災慰霊の日(3月11日)、復興達成宣言(2020のみ)、4月は名取春祭りもある。

⇒湊神社まつりは5月?(事務局)

- ・4月25日かわまちてらオープン日(1周年)もある。

⇒朝市と水産加工団地もトレイルセンターにもイベントについては聞きに行く。

- ・小女子としらすまつりが水産加工団地のイベントらしい。朝市はほやまつりの継続があるかもしれない。

⇒サンマ祭りが9月にある。(事務局)

- ・8月にソフトボール大会を予定したい。
- ・地区民運動会は、小中学校との同時開催から分離させたい。

⇒分離すると9月の初旬でないか?(市)

- ・小学校は5月運動会だ。
- ・11月は名取秋祭り

⇒芋煮グランプリ11月に予定、来年以降はかわまちテラスでやる。7月7日は水辺で乾杯は継続する予定。(事務局)

- ・閑上舟運の運行期間も入れるべきだろう。
- ・舟運の見直しも必要だろう。人を呼ぶならもう少し運行を企画化すべき。
- ・サイクルスポーツセンター、温浴施設の開設、復興マラソン10月もある。
- ・ツールド東北が閑上にも来るかもしれない。
- ・復興マラソンのスタート地点も変更という話もある。

⇒赤貝の季節も記載するか?

- ・お炊き上げは、現地で消防がらみでできない。
- ・サイクルスポーツセンターのイベントも記載すべきだろう。
- ・ままちゃりは閑上でやりたいが、まだ具体化していない。
- ・車いすのレースの企画もある。
- ・湊神社の春祭りは5月5日だった。
- ・公民館祭りも記載すべきだろう。
- ・新春集いの会が公民館を中心としてだれでも受け入れている。1月に開催予定。

⇒トレイルセンターの外構整備によるグランドオープンもある。(市)

- ・閑上小中学校のイベントも、学習発表会なども、運動会や、その他も入れるかどうか?

⇒フィッシュアリーナよりヨットハーバーが通称だ。(市)

⇒佐々木酒造、ビールなどもあるが、民間企業にイベントの記載には慎重になる必要もある。(事務局)

⇒閑上漁港は?(事務局)

- ・あまりぱっとしない。
- ⇒朝市のイベントもどこまで入れるか。(事務局)
- ・サンマ祭りは有名になりつつある。
- ⇒季節ごとにイベントを入れるべきだろう。(事務局)
- ・中央集会所とかはないか？
- ⇒春祭り4月、夏祭り8月、芋煮会11月、クリスマス会(市)
- ⇒集会所ごとにイベントはあるだろう。(市)
- ・町内会のイベントには外からの参加は難しいものはある。
- ⇒事務局で整理していく。市役所の聞き取りも(事務局)
- ・中央緑道の完成についても記載すべきでは？
- ⇒開通式となるか・・・4月くらいだろう。秋祭りには飴とクリアファイルとペンを配布する。
- ・風船はこどもを寄せられるので、やはり実施すべきでは？
- ⇒実施する。(事務局)
- ・風船の手元の工夫を望みたい。

### 3. 復興達成後の閑上地区まちづくり

- ⇒こういう街になったらいいなのイメージ共有を宿題とした、意見交換をしたい。スケジュールも共有することでまちの方向性が纏まると思う。(事務局)
- ・いろんな関係団体のばらばらな動きだったものを、良い点悪い点ふまえて、まちびらき実行委員会の経験からすると、団体がまとまって知恵出ししてきたのはいいやり方だと思う。タウンマネジメントをするのも同じような組織を目指すべきではないか、どういうくりがいいのか？団体の代表、体制作りをまち協だけでもできないので、まち協の設立準備会みたいな、組織化に向けた準備組織を作って、どのような組織がいいのかを議論しながら組成していくことがいいのではないかなと思う。声の大きな人に引っ張られることもあるが、声の弱い団体の意見も反映できる準備が必要ではないかなと思う。
- ・設立準備会を作るなら、今のタイミングで作るしかないだろう。
- ・みんなとは？
- ・様々な団体、企業も含めたほうがよい。
- ・スケジュールの共有が軸となって、実行委員会みたいなものができるといいのではないかなと思う。組織化を先行するのは難しいだろう。
- ・どこが声がけをするかだ
- ・公民館が核となるべきだろう。仕組みを先に作るのは得策ではない。
- ・町内会が組成されつつある中で、イベントがそれぞれの団体で実施していくなかで、来年もそれぞれが開催することになる。理想は閑上で一本化することが望ましいのではないかなと考える。閑上としてまとまる際に、住民から事業者に意見を言うことも難しいかもしれないが、イベントが重複して適正な運営ができないなどの可能性も踏まえ、団体同士で協力化していくなどの動きが望ましいと思う、まち協の延長戦ではない。
- ・誰かがまとめていくべきだが、方向性を見つけていくことも必要だろう。
- ・寄せ集める方法どう考えるかだろう。

- ・公民館がうまく係ることが望ましいが、市も公民館も係り方が難しいのでは？
  - ・事務局長などを担うのが公民館となるようなイメージなのかもしれない。
  - ・第三者であるコンサルなどが推進してもらうことが望ましいだろう。
  - ・まち協は体制案を提案することが役目なのではないか。
  - ・新しい組織においても規則や定款などでまとめていくことも必要だろう。そこまでまち協が担うべきではないかと思う。新しい組織に携わっていきたい人をお願いするべきだろう。
  - ・まち協は事務局機能を持つことはない。イベントを軸としつつ、団体を結びつけるところが重要だろう。
  - ・それを誰が決めるかだと思う・
  - ・行政ニーズも、公民館も考えられるが、別の組織をお願いしたほうがいいのではないかと思う。
  - ・閑上に関わりたい代表が集まって、意見交換する場が必要だろう。
  - ・まちびらき実行委員会は望ましいのかもしれない
  - ・住民代表組織はやはり町内会だろう。組織に参加するのはその代表だろう。
  - ・行政の参加も必要だが、住民、事業者も取り込んで、進めることができるのでは一つの祖組織が必要だろう。約束事はまち協で作るということではないか？
  - ・やりかたのきっかけはカレンダー作りがいいのではないか？
  - ・まち協でその事務局が担えない、その組織を作らせる方がいい。
- ⇒イメージ的には事務局はコンサルや行政がやっているが、新しい組織の事務局をまち協が担うということはないか？（事務局）
- ・ルールを敷くところまでが、まち協の役割で、運転はしない。
- ⇒参加しない人が、できた後文句を言う人がいる事実がある。イベントの取りまとめをすることを理由に、集めて、話をする必要があろう。
- ・仕組みの内容を作成するという事だろう。
  - ・今年度でやるべきだろう。
- ⇒慌てなくても、今年度内に話し合いの場ができるだけでもいいはず。（事務局）
- ・来年度以降も続けられる話がまとまれば、それでもいい。
  - ・実行委員会みたいな組織をつくるので、集まってほしいとの話をするしかないのではないか？
  - ・重複し、影響しあうイベントの内容に調整することを目指すべきだろう。
  - ・閑上全体で進めるということは外せない。
  - ・住民側の理由、事業者側の理由を踏まえて、まち協がやれることを整理するべきだろう。
  - ・まち協の目指すべき方向としては、閑上のまちを維持継続するための何かを考えることが最終目標だろう。
  - ・今後のまちづくりを進める仕組みを作ることが望ましいし、今までの記録を残すことが最終的な話だろう。
  - ・閑上で活動する支援団体などにも参画してもらう枠組みが欲しい。
  - ・最初は強引にも集める必要はあるかもしれない。
  - ・まとまった組織ができることがやはりよい。
  - ・組織化を実現するには、相当大変なシナリオが必要、住民主体がまち協なのだが、新しい組織は事業

者も含む、行政や団体、公民館、学校、PTAなども含めて話をしないと難しい。

- ・まち協は行政の支援があるので継続してきたが、それがなくなるとどのように進めることができるのかも探る必要がある。来年度以降、議論したい人が進めることがいいのではないかと思う。
- ・NPOなどの組織化をしながら進めることは非常に難しい。
- ・公民館は無料で集められる場所があるのだから、いろんなイベントに対する意見交換はできると思う。
- ・人集めをどうするのか、それを議論していくべきだろう。
- ・事業者は損得でしか動かないので、引き入れて意見を聞くことが望ましいと思う。
- ・ある程度の人を集めて進めることが望ましい。
- ・事業者は人集めが必要でそれが収益になるのでイベントを企画しがち、その際に意見交換しながら進めることが望まれる。
- ・商工業者も世代転換の時期に来ていると思う。

⇒集まった人でどういう組織が望ましいのか議論、話の場づくりが必要だろう。(事務局)

- ・話し合いのたたき台を用意すべきだろう。そのきっかけがカレンダー作成だろう。

⇒目指しているまちづくりを事業者と住民が共有すべきだろう。極論はイベント時の住民協力をベースにしていくことが閑上のまちづくりだということを理解しあうことが必要だろう。(事務局)

- ・住民側の迷惑感についても、話し合いでその程度を意見交換できることが望ましい。
- ・かわまちなどもあとだしなので、住民への影響も考えないといけない。

⇒集まった時に説明できる内容作成と集めるべき組織のリストアップなどもしていく。秋祭り後、11月中旬は、声がけする団体を整理し、3・4回を議論していく予定になる。宿題としてまちのあるべき姿と団体のリストアップをお願いしたい。(事務局)

#### 4. その他

- ・助成金の申請書について、事務局で整理して提出する。
- ・秋祭りの集合時間は、7:30 集合で、メールする。内容については29日の世話役会で議論する。

以上

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は10月29日(火)とする。

次回予定:世話役会(177)10/29(火)18:30～ 閑上公民館会議室